

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【340】

2. 日時：令和4年12月16日 10時00分～11時10分

3. 場所：原子力規制庁 9D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

津金主任安全審査官、服部(靖)安全審査専門職、植木技術参与、山浦技術参与※

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他10名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 設備技術室 担当※

5. 要旨

(1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、強度に関する説明書（重大事故等クラス2容器の強度についての計算書等）について、令和4年12月12日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【重大事故等クラス2容器の強度について】

○ 原子炉格納容器の配管貫通部の強度計算の代表部位の選定方法について、裕度が小さい部位を選定していることが分かるように説明すること。

○ ベントヘッダの強度計算について、溶接部にかかる荷重がマイナス表記となっている理由について説明すること。

(3) 中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

なし